

小中学生の保護者の皆様へ ご家庭で子どもと向き合うヒントをお届けします。

子どもの夏休みを充実させるために

◆夏休みは子どもにとっては成長の時

身体も心も大きく成長する機会です。夏休みに向けて、家庭ではどんな準備をして、子どもの力を伸ばせばいいでしょうか。子どもの力を伸ばす関わり方について考えてみましょう。

夏休みはその名のとおり休みです。子どもが日常の通学生活から解放され、リラックスし、同時に楽しい時を過ごすことを最優先したいものです。そうすることで、新学期に向けての充電となります。

◆目標とスケジュールを立てましょう

何か課題設定して過ごすことをお勧めします。早寝早起きなどの生活習慣や、学習習慣の維持、中学生であればクラブ活動への参加などやるべきことはあります。それ以外に、何らかの課題をもって過ごすのです。それを実行できたとき、子どもは充実した夏休みを過ごしたと感ずることが出来ます。そのためにお子さんとの話し合い、そして、子どもの計画力を高めましょう。

家族のスケジュールがはっきりしたところで、子どもと話せる時間をとります。まず、子どもが夏休みをどう過ごしたいと思っているかを聞きます。「この夏休みはどう過ごしたい？」と問いかけると子どもは答えてくれるでしょう。

◆「別に・・・、何にもしたくない」と言われたら

「何言ってるの、きちんとスケジュール立てなさいよ」などと説教口調にならないように気を付けて。

「そうか、何にもしたくないのか。いっぱい楽しむ計画しようよ」と話し合いに誘います。子どもがやってみたいことを聞いてみましょう。やりたいこと、行ってみたいところ、読みたい本など。その中から一つ課題を選びます。「泳げるようになる夏」、「一人で祖父母の家まで旅する夏」など。カレンダーを用意し、家族旅行、学校のプールやサマースクール、クラブ活動の予定、宿題、課題との取り組みと予定を入れていきます。

充分余裕のある計画となるよう見守りましょう。子ども自身が中心になって考えていくとき、夏休みに対する期待が高まり、子どもの計画力を伸ばします。

◆実行の段階に入ったら、あとは子どもに任せます

ときには計画通りには行かないこともあるでしょう。「やっていない」としかるのではなく、計画修正を促してください。もともと無理のない計画であれば、実行し、定期的な振り返ることで、子どもはできる実感を持ち、自信を育てます。小さな課題が子どもの力を大きく伸ばしてくれます。

